

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 マサル

コード番号 1795 URL <http://www.masaru-co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻谷 純

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大木 信雄

TEL 03-3643-5944

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第2四半期 | 2,206 | △17.1 | △214 | — | △215 | — | △219 | — |
| 21年3月期第2四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | △49.81 | — |
| 21年3月期第2四半期 | — | — |

(注)当社は、平成21年4月1日付で連結子会社の株式会社テクマを吸収合併し、平成22年3月期より非連結となったため、前期実績、対前期増減率は記載していません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | 7,516 | 2,497 | 33.2 | 567.80 |
| 21年3月期 | 7,114 | 2,734 | 38.4 | 621.60 |

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,497百万円 21年3月期 2,734百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | — | — | 4.00 | 4.00 |
| 22年3月期 | — | — | — | — | — |
| 22年3月期 (予想) | — | — | — | 4.00 | 4.00 |

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-------|------|------|------|-------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,000 | △14.1 | 120 | △9.8 | 100 | △13.5 | 30 | — | 7.18 |

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他 をご覧下さい。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他 をご覧下さい。

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|--------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 4,505,757株 | 21年3月期 | 4,505,757株 |
|---------------------|-------------|------------|--------|------------|

| | | | | |
|-----------|-------------|----------|--------|----------|
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 107,729株 | 21年3月期 | 106,740株 |
|-----------|-------------|----------|--------|----------|

| | | | | |
|--------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 4,398,226株 | 21年3月期第2四半期 | 4,158,067株 |
|--------------------|-------------|------------|-------------|------------|

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、実際の業績は今後様々な要因によって数値予想と異なる結果となる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、生産や輸出の一部持ち直しなど景気の底入れ感が窺えるものの、円高による企業業績への影響、雇用情勢や所得環境の悪化、加えて個人消費の落ち込みなど、内需は依然として弱含んでおり景気は先行き不透明な中で推移しました。

建設業界におきましては、公共投資は底堅い動きが見られたものの、民間投資は企業収益の減少や設備の過剰感を背景に設備投資意欲は減退しており、不況の長期化は深刻な影響を及ぼしております。

このような状況のなか、当社は「一丸となって不況を乗り切る」との年度方針のもと、採算重視を最優先に掲げ、受注増強を図るため営業本部増員と併せ体制強化、多能工の育成による業務効率化、経費削減を含む工事原価圧縮への取り組みなど、諸施策を推し進めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の受注高は42億15百万円、完成工事高につきましては22億6百万円となりました。

損益面につきましては、価格競争がさらに増し工事採算性が低下したことなどから、営業損失2億14百万円、経常損失2億15百万円、四半期純損失は2億19百万円となりました。

なお、当社の完成工事高は、通常の営業形態として第4四半期会計期間に完成する工事の割合が大きく、業績に季節的変動があります。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて6.9%増加し63億7百万円となりました。これは、主に未成工事支出金等が増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて0.5%減少し12億8百万円となりました。これは、主に建物の減価償却等により減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて16.8%増加し44億88百万円となりました。これは、主に未成工事受入金等が増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて1.1%減少し5億30百万円となりました。これは、主に社債が増加し、長期借入金が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて8.7%減少し24億97百万円となりました。これは、主に利益剰余金等が減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べて3億10百万円増加し5億70百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

未成工事支出金の減少や税引前四半期純損失等で資金の減少がありましたが、売上債権の減少や未成工事受入金の増加等で資金の増加もあり、7億27百万円のプラスとなりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

保険積立金の積立等の支出により4百万円のマイナスとなりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金や長期借入金の返済等により4億12百万円のマイナスとなりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

建設業界を取り巻く環境は、景気の不透明感から厳しい状況が続くと思われませんが、現時点では不確定要素も多々あることから平成21年10月30日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり通期業績予想の変更は行っておりません。

なお、今後、業績修正の必要が生じた場合は速やかに公表することといたします。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理基準に関する事項の変更)

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期会計期間より適用し、第1四半期会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の完成工事高は1億22百万円増加し、営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失は、それぞれ17百万円減少しております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | | 当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日) |
|---------------|--|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | | 1,047,088 |
| 受取手形・完成工事未収入金 | | 1,060,336 |
| 未成工事支出金 | | 3,951,885 |
| 材料貯蔵品 | | 8,507 |
| その他 | | 240,950 |
| 貸倒引当金 | | △961 |
| 流動資産合計 | | 6,307,808 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | | 210,832 |
| 土地 | | 551,163 |
| その他（純額） | | 7,553 |
| 有形固定資産計 | | 769,549 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | | 2,926 |
| その他 | | 29,438 |
| 無形固定資産計 | | 32,364 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | | 145,927 |
| その他 | | 351,613 |
| 貸倒引当金 | | △91,050 |
| 投資その他の資産計 | | 406,490 |
| 固定資産合計 | | 1,208,404 |
| 資産合計 | | 7,516,212 |

(単位：千円)

当第2四半期会計期間末
(平成21年9月30日)

| | |
|--------------|-----------|
| 負債の部 | |
| 流動負債 | |
| 支払手形・工事未払金 | 1,210,401 |
| 短期借入金 | 749,300 |
| 1年内償還予定の社債 | 100,000 |
| 未払法人税等 | 4,146 |
| 未成工事受入金 | 2,317,094 |
| 賞与引当金 | 35,000 |
| 工事損失引当金 | 33,828 |
| 完成工事補償引当金 | 3,897 |
| その他 | 34,770 |
| 流動負債合計 | 4,488,438 |
| 固定負債 | |
| 社債 | 370,000 |
| 長期借入金 | 87,000 |
| 負ののれん | 4,492 |
| その他 | 69,077 |
| 固定負債合計 | 530,569 |
| 負債合計 | 5,019,008 |
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | |
| 資本金 | 885,697 |
| 資本剰余金 | 1,261,600 |
| 利益剰余金 | 393,748 |
| 自己株式 | △38,480 |
| 株主資本合計 | 2,502,565 |
| 評価・換算差額等 | |
| その他有価証券評価差額金 | △5,361 |
| 評価・換算差額等合計 | △5,361 |
| 純資産合計 | 2,497,204 |
| 負債純資産合計 | 7,516,212 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) |
|--------------|---|
| 完成工事高 | 2,206,414 |
| 完成工事原価 | 2,054,508 |
| 完成工事総利益 | 151,905 |
| 販売費及び一般管理費 | |
| 役員報酬 | 49,012 |
| 従業員給料手当 | 145,372 |
| 賞与引当金繰入額 | 28,175 |
| 減価償却費 | 9,445 |
| その他 | 134,056 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 366,063 |
| 営業損失(△) | △214,157 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 869 |
| 受取配当金 | 825 |
| 負ののれん償却額 | 499 |
| 材料報奨金 | 12,205 |
| その他 | 12,012 |
| 営業外収益合計 | 26,412 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 11,754 |
| 手形売却損 | 6,013 |
| その他 | 9,793 |
| 営業外費用合計 | 27,562 |
| 経常損失(△) | △215,308 |
| 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,074 |
| 役員賞与引当金戻入額 | 2,000 |
| 長期未払金戻入額 | 10,899 |
| 特別利益合計 | 13,974 |
| 特別損失 | |
| 抱合せ株式消滅差損 | 16,256 |
| 特別損失合計 | 16,256 |
| 税引前四半期純損失(△) | △217,590 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,970 |
| 法人税等調整額 | △490 |
| 法人税等合計 | 1,479 |
| 四半期純損失(△) | △219,069 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) |
|-------------------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純損失 (△) | △217,590 |
| 減価償却費 | 9,537 |
| 負ののれん償却額 | △499 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △1,074 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △2,000 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △16,108 |
| 工事損失引当金の増減額 (△は減少) | 32,864 |
| 完成工事補償引当金の増減額 (△は減少) | 908 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,695 |
| 支払利息 | 11,754 |
| 長期未払金戻入額 | △10,899 |
| 抱合せ株式消滅差損益 (△は益) | 16,256 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,417,454 |
| 未成工事支出金の増減額 (△は増加) | △1,425,579 |
| その他のたな卸資産の増減額 (△は増加) | 1,184 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △60,874 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △170,331 |
| 未成工事受入金の増減額 (△は減少) | 1,225,662 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | △9,724 |
| その他 | 2,725 |
| 小計 | 801,970 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,495 |
| 利息の支払額 | △11,159 |
| 法人税等の支払額 | △66,085 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 727,221 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 貸付金の回収による収入 | 1,803 |
| 会員権の償還による収入 | 2,650 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 1,420 |
| 保険積立金の積立による支出 | △10,502 |
| その他 | △356 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,984 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △127,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △436,200 |
| 社債の発行による収入 | 200,000 |
| 社債の償還による支出 | △30,000 |
| リース債務の返済による支出 | △1,101 |
| 自己株式の取得による支出 | △252 |
| 配当金の支払額 | △17,596 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △412,149 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 310,087 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 225,048 |
| 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 15,651 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 570,787 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 四半期連結損益計算書

前第2四半期連結累計期間においては、個別財務諸表は作成していないため、参考資料として、(要約) 四半期連結損益計算書を記載しております。

| 科目 | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) |
|---------------------|---|
| | 金額(千円) |
| I 完成工事高 | 2,671,178 |
| II 完成工事原価 | 2,324,215 |
| 完成工事総利益 | 346,962 |
| III 販売費及び一般管理費 | 432,860 |
| 営業損失(△) | △85,898 |
| IV 営業外収益 | 28,491 |
| V 営業外費用 | 29,356 |
| 経常損失(△) | △86,763 |
| VI 特別利益 | 16,476 |
| VII 特別損失 | — |
| 税金等調整前四半期 純損失(△) | △70,287 |
| 法人税等合計 | 30,268 |
| 四半期純損失(△) | △100,556 |